

ベースロード市場について (2023年度第3回オークション結果概要)

2023年12月26日（火）

第92回 制度設計専門会合

事務局提出資料

本日御報告する内容について

- 2023年度第3回オークションが本年11月28日※1・30日※2に実施されたため、本日はその結果概要を御報告するもの。

※1:固定価格取引（1年）

※2:事後調整付取引（1年・2年）

(参考) 2023年度オークションにおける取扱い予定商品とスケジュール

- BL市場における2023年度オークションの取扱い予定商品とスケジュールは以下のとおり。

<各オークションにおいて取り扱う商品>

第79回制度検討作業部会
(2023年5月25日) 資料5より抜粋

	第1回	第2回	第3回	第4回
1年商品 (制度的供出量割合※1)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (85%)	固定価格取引 (42.5%) 事後調整付取引 (42.5% + α※3)	固定価格取引 (任意供出)
長期商品 (制度的供出量割合※2)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	事後調整付取引 (15%)	—

※1：同年度オークションの約定量及び適格相対契約控除量等を除く。

※2：前年度及び同年度オークションの長期商品約定量及び適格相対契約控除量等を除く。

※3：第3回オークションの固定価格取引において約定しなかった売札量 α

<BL市場の取引スケジュール>

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
従来の取引 スケジュール		● 第1回オークション 容量市場 追加オークション	約2か月 ● 第2回オークション	約2か月 ● 第3回オークション				● 第4回オークション (供出は任意)		
2023年度以降の 取引スケジュール		● 容量市場 追加オークション	約1.5か月 ● 第1回オークション	約1.5か月 ● 第2回オークション	約1.5か月 ● 第3回オークション			● 第4回オークション (供出は任意)		

第3回オークションの結果概要（1年商品、固定価格取引）

- **約定量**は、第2回オークションと比較して、**全エリア合計で20.5MW増加**。今年度3回のオークションの中で、西日本エリアでは最も少なくなった反面、東日本エリアでは2番目に多く、九州エリアでは最も多い約定量となった。
- **約定価格**は、第2回オークションと比較して、**東日本エリアは下落**した一方、**西日本エリアは上昇**した。第2回オークションで約定が無かった**九州エリアについては、第1回オークションと比較して下落した。いずれもTOCOM先物価格を下回る水準**となった。
- 第2回オークションと比較して、**売札平均価格が下落し、売買平均価格の乖離が縮小**した。

エリア	(今回) 2023年度第3回オークション			売札平均価格*1	買札平均価格*1	TOCOM先物価格*2
	約定量	約定価格	約定割合			
東日本	36.2MW(3.17億kWh)	15.40円/kWh	4.4%	—	—	15.86円/kWh
西日本	81.5MW(7.14億kWh)	12.00円/kWh	10.1%	—	—	12.64円/kWh
九州	6.5MW(0.57億kWh)	11.76円/kWh	3.3%	—	—	12.64円/kWh
合計	124.2MW(10.88億kWh)	—	—	16.32円/kWh	12.18円/kWh	—

(参考) 2023年度第2回オークション結果概要

	約定量	約定価格	約定割合	売札平均価格*1	買札平均価格*1	TOCOM先物価格*2
東日本	11.7MW(1.02億kWh)	16.95円/kWh	0.7%	—	—	16.98円/kWh
西日本	92.0MW(8.06億kWh)	11.62円/kWh	5.6%	—	—	13.15円/kWh
九州	—	—	—	—	—	13.15円/kWh
合計	103.7MW(9.08億kWh)	—	—	19.25円/kWh	12.23円/kWh	—

*1：事務局にてBLオークション約定結果を基に全エリアの売札及び買札の加重平均価格を算出。
*2：オークション当日（第2回10/20、第3回11/28）におけるTOCOM電力先物・ベースロード 2024年4月限～2025年3月限までの単純平均値。

第3回オークションの結果概要（1年商品、事後調整付取引）

- 約定量は、固定価格取引と比較して、東日本エリアは多くなった一方、西日本エリアは少なくなった。九州エリアでは約定がなかった。
- 約定価格は、固定価格取引とほぼ同水準（東日本：15.15円/kWh、西日本：11.80円/kWh）※となった。 ※事後調整の結果、実際の受渡し価格は変動する可能性がある。

エリア	(今回) 2023年度第3回オークション				売札平均価格*1	買札平均価格*1	TOCOM先物価格 *2
	約定量	約定価格	調整係数*3	約定割合			
東日本	48.7MW(4.27億kWh)	15.15円/kWh	0.31	3.4%	—	—	15.25円/kWh
西日本	64.7MW(5.67億kWh)	11.80円/kWh	0.06	4.6%	—	—	12.12円/kWh
九州	—	—	—	—	—	—	12.12円/kWh
合計	113.4MW(9.93億kWh)	—	—	—	16.48円/kWh	11.95円/kWh	—

（参考）2023年度第3回オークション(1年商品、固定価格取引)結果概要

	約定量	約定価格		約定割合	売札平均価格*1	買札平均価格*1	TOCOM先物価格*2
東日本	36.2MW(3.17億kWh)	15.40円/kWh		4.4%	—	—	15.86円/kWh
西日本	81.5MW(7.14億kWh)	12.00円/kWh		10.1%	—	—	12.64円/kWh
九州	6.5MW(0.57億kWh)	11.76円/kWh		3.3%	—	—	12.64円/kWh
合計	124.2MW(10.88億kWh)	—		—	16.32円/kWh	12.18円/kWh	—

* 1：事務局にてBLオークション約定結果を基に全エリアの売札及び買札の加重平均価格を算出。
* 2：オークション当日（固定価格取引:11/28、事後調整付取引:11/30）におけるTOCOM電力先物・ベースロード 2024年4月限～2025年3月限までの単純平均値。
* 3：取引時点の全日本通関統計価格に基づいて、石炭価格が 1,000 円/t 変動した場合の変動額（円/kWh）を事後調整単価としている。

第3回オークションの結果概要（2年商品、事後調整付取引）

- 東日本エリアのみ約定する結果となった。
- 約定価格は、第3回オークションの3商品の中で最も高い水準※となった。

※事後調整の結果、実際の受渡し価格は変動する可能性がある。

エリア	(今回) 2023年度第3回オークション				売札平均価格*1	買札平均価格*1
	約定量	約定価格	燃料費調整係数*2	約定割合		
東日本	24.0MW(2.10億kWh)	17.07円/kWh	0.39	20.0%	—	—
西日本	—	—	—	—	—	—
九州	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	16.87円/kWh	13.62円/kWh

(参考) 2023年度第2回オークション結果概要

	約定量	約定価格	燃料費調整係数*2	約定割合	売札平均価格*1	買札平均価格*1
東日本	—	—	—	—	—	—
西日本	—	—	—	—	—	—
九州	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	17.14円/kWh	13.75円/kWh

*1：事務局にてBLオークション約定結果を基に全エリアの売札及び買札の加重平均価格を算出。
*2：取引時点の全日本通関統計価格に基づいて、石炭価格が1,000円/t変動した場合の変動額（円/kWh）を事後調整単価としている。

各社の燃料費の見積りについて（1年商品、固定価格取引）

- 各社が供出上限価格の算定に織り込んだ石炭燃料費の見積り単価と、①石炭先物価格、②直近の現物価格との乖離率をそれぞれ確認したところ、概要は下表のとおり。
- 全体の単純平均を見ると、第2回オークションと比べて、①との乖離率は、石炭先物価格が下落傾向にあり拡大（+65%→+83%）した一方、②との乖離率は、直近の現物価格が上昇傾向にあり縮小（+49%→+28%）した。個社で見ると、第3回オークションで価格変動リスクを非常に大きく見積もった結果、①との乖離率が200%程度高い水準となった事業者もいた。

■ 石炭燃料費見積り単価と先物価格との比較

単位：円/t	石炭先物価格 ※1	石炭燃料費見積り単価※2			石炭先物価格との乖離（%）		
		各社最低価格	各社平均価格	各社最高価格	最小	平均	最大
2023年度第3回	19,787	25,225	36,181	60,275	+ 27%	+ 83%	+ 205%
2023年度第2回	23,462	26,685	38,772	60,318	+ 14%	+ 65%	+ 157%

■ 石炭燃料費見積り単価と貿易統計との比較

単位：円/t	石炭価格 貿易統計 直近値※3	石炭燃料費見積り単価※2			貿易統計との乖離（%）		
		各社最低価格	各社平均価格	各社最高価格	最小	平均	最大
2023年度第3回	28,377	25,225	36,181	60,275	▲ 11%	+ 28%	+ 112%
2023年度第2回	26,063	26,685	38,772	60,318	+ 2%	+ 49%	+ 131%

※1石炭先物価格は、オークション時点のICE Newcastle Coal Futuresの単純平均を当日の為替レートに乗じて算出。
（第2回：2023年10月20日 第3回：2023年11月28日 2024年4月限～2025年3月限）（出所）Barchart HP及びみずほ銀行HPを基に事務局にて作成。

※2石炭燃料費見積り単価には、リスクプレミアム・フレート代・その他等も含む。

※3財務省 貿易統計を基に事務局にて作成（オークション実施月平均）

現時点のまとめ

- 2023年度第3回オークションにおいては、受渡し期間1年の取引に事後的に調整する取引が初めて導入され、東日本エリア・西日本エリアで約定し、東日本エリアについては固定価格取引を上回る約定量となった。
- 2023年度第3回オークションについて、電力・ガス取引監視等委員会（親委員会）での監視の結果、供出上限価格の算定に関して、大規模事業者のうち1社においては燃料費の価格変動リスクの見積り手法についてガイドラインに定められた算定手法とは認められないことが確認されたため、業務改善指導を行った。
- なお、第2回のオークションの監視結果として燃料費の価格変動リスクの織り込み方について改善を再度検討するよう求めた大規模発電事業者については、第3回オークションにおいて一定の改善がなされていることを確認した。
- 2023年度オークションから事後調整付取引が導入されたことにより、1年商品・固定価格取引の燃料費の価格変動リスクの織り込みがどのように変化したか等を含め、2023年度第1回～第3回オークション結果の総括については別途御報告することとしたい。